

# ICカードを用いた動物用個体識別システムの構築

005132 外川 奈緒  
(指導教員 速水 治夫 教授)

## 1. はじめに

現在、ペットの数が急速に増加し、ペットの種類が多様化するなか、年間約50万匹の遺棄動物（捨て犬など）が保護されるが、ほとんど引取り手のないまま処分されている。

いろいろな対策が考えられる中、犬猫にマイクロチップを埋め込みに個体識別する方法があるが、体内に異物を埋め込むという行為に抵抗感があり、普及率が低く一般に認知されていない。

そこで、マイクロチップに代わり社会に普及してきているICカードに代えることにより、誰でもペットを管理し、情報を容易に変更できるようにシステムを構築した。

## 2. 目的

ICカードを動物（ペット）の首輪などに取り付けることによって、その動物を識別し保護管理する。もし、ペットが迷子になってしまったら拾い主が本システムを使用してICカードから情報を読み、飼い主に連絡をし、無事帰ることができるようにすると仮定した。

## 3. システム概要

ICカードにペットの情報（名前、種類、住所など）を入れておき、カードリーダーを通して情報を読み取り、必要に応じて書き換えをする。システム動作手順は図1に示し、メイン画面を図2に示す。

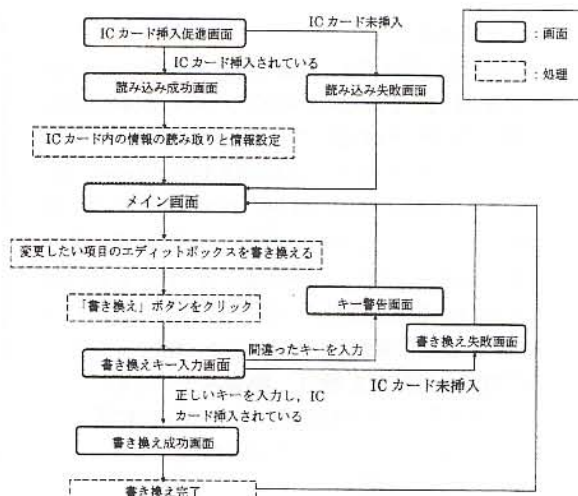


図1 システム動作手

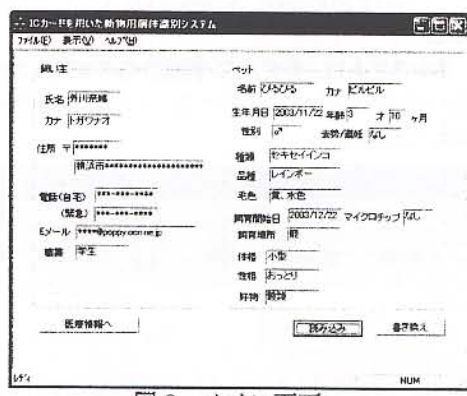


図2 メイン画面

## 4. まとめ

本システムを学生に使用してもらった結果、読み込み、書き換えをスムーズに動作することができた。今後の課題は、写真などの画像情報も扱うことが出来るようにすることと、見やすい画面デザインにするとという改善の必要がある。